

平成20年度 福智町社会福祉協議会

事業計画



信頼と親しみのある身近な福智町社会福祉協議会をめざして
（共に歩む福祉のパートナー）

基本構想

少子高齢化が一段と進み、地方分権をより一層推進するための三位一体改革や介護保険制度の改正、障害者自立支援法の改正など住民に対する福祉サービスの仕組みは刻々と変化しています。そのような中で、ますます身近な地域での安心した生活が求められています。福智町社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、住民が安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを推進するために、自立し安定した財政基盤を構築し、地域の福祉力を高め、地域協働の体制を構築していくことが大きな使命です。

本年度は、三事業所の統合をおこない、効率的な運営と地域の福祉力向上のための事業展開をおこない、住民に信頼され親しみのある身近な福智町社会福祉協議会づくりを目指します。

運営理念

福智町社会福祉協議会は、基本理念を基に以下の運営理念により事業を展開します。

- ① 住民参加・協働による福祉社会の実現
- ② 地域における利用者本位の福祉サービスの実現
- ③ 地域に根ざした総合的な支援体制の実現
- ④ 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦
- ⑤ 人材育成によるより質の高いサービス提供体制の実現
- ⑥ 安定した財政基盤の基に確保されたサービス提供体制の実現

実施計画

財政基盤安定のための運営改革と組織機能の強化

- ① 理事会・評議員会の開催
- ② 部会・委員会の開催
- ③ 定例三役会の開催
- ④ 監査会の開催
- ⑤ 行政連絡会の開催
- ⑥ 役員研修会の開催
- ⑦ プロジェクト会議の開催
- ⑧ 各種研修会参加による自己研鑽と資格取得の推進
- ⑨ 職務・責務の明確化
- ⑩ 賛助会員の募集
- ⑪ 寄附金の募集
- ⑫ 補助金・助成金・委託金の適正化
- ⑬ 収益事業の検討
- ⑭ 共同募金運動の強化と拡充
- ⑮ 居宅介護支援事業の見直し
- ⑯ 訪問介護事業の見直し
- ⑰ 障がい者自立支援事業の見直し
- ⑱ 葬祭事業の取り組み強化
- ⑲ ホームページによる情報公開

地域の福祉力を高めるための事業の推進

- ① ふれあいサロン事業の充実と拡充
- ② 福祉委員制度の充実と拡充